

電機労働者懇談会

Electric Labor and Industry Correspondence

2012年4月10日

No 292

1部100円

発行者ELIC編集委員会谷口利男
108-0073 東京都港区三田3-2-20
TEL(03)3455-6006 Fax3451-3595
郵便振替00130-3-358078ELIC編集委員会

ELIC

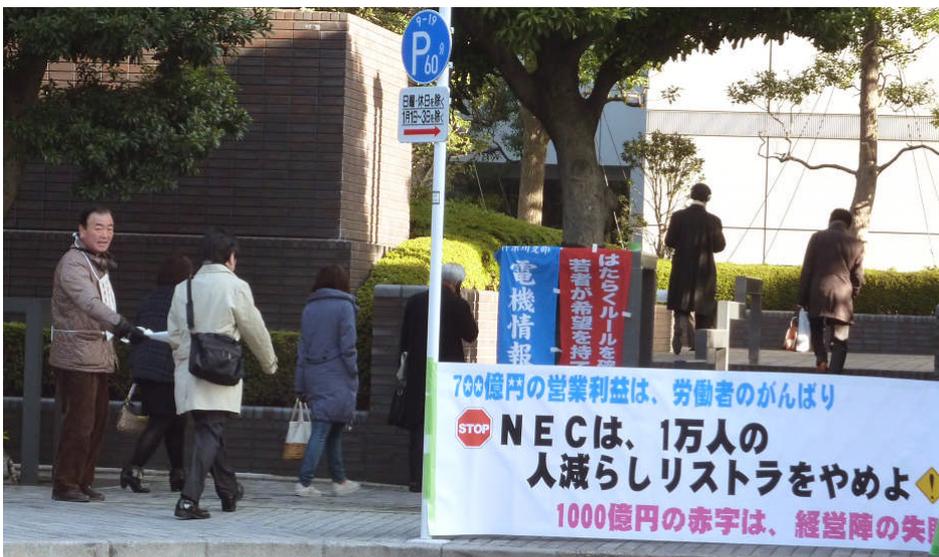
理不尽なNECの人減らしに反撃

NECは、構造改革（人減らしなど）費用400億円を含む1000億円の赤字（当期純損益）を口実に1万人（うち外部リソース5000人）の人減らしを行おうとしています。それも株主に約束した「来年度1000億円の営業利益を確実に出すため」というのですから、とても許せない人減らし計画です。人減らし対象は、スタッフ部門が中心とのことですが、4月の組織変更で具体化することです。ただし、既に携帯電話生産のNEC埼玉（神川町）では、従業員の4分の1にあたる500人の人員削減をおこなうことが明らかになっています。

3月12日はNEC玉川事業場で、14日は、NEC本社、夏目ビル、三田国際ビル（写真上）で、16日はNEC府中事業場（写真下）にて、宣伝行動を行い、NECの1万人の人減らしリストラに反対するピラ第2弾（ELICNEC3月号）を配布しました。

玉川事業場では、ピラを受け取ったNEC社員から「ご指摘の通りですね。同感です。リストラは、全く腹立たしいですね」と、声をかけられました。本社前

では、ゼッケンに加えて、大きな横断幕をNEC本社前に掲げ、宣伝しました。本社のスタッフ部門がリストラの対象だけに、大きな関心がありピラの受け取りも大変良く前回よりはるかに多いピラを手渡すことができました。また職場ではピラの



「退職勧奨・強要をはね返す6ヶ条」が、大きな関心を呼び「これはいいなあ」「こうでなくては」と盛り上がっていました。府中事業場では、今回は、前回にも増してピラの受け取りが良く、特に未だかつてない組合員の賃金4%カット報道の直後だけに、職場労働者の関心が高かったと思われます。会社側から「NECの存続危機」宣伝が一層強化されていますが、4月からは人減らし計画が具体化します。

NEC & 関連労働者ネットワークでは、電機懇、電機・情報ユニオンとともにそれに負けない取り組みを強めようと決意しています。

今月号の紙面

- ① NECの人減らしに反撃を開始
- ② 電機大手の低額回答に抗議！
- ③ 3・11原発ゼロ集会に参加
電機連合大手組合の12春闘結果
- ④ JMIU高見澤電機の高裁裁判
三菱電機の高裁第1回口頭弁論
- ⑤ 鈴木喜美子さんを語る会を開催
NECセミ・裁判闘争報告
- ⑥ 私の自慢「ルーツ探し」山口さん
- ⑦ 電機情報ユニオン、青年コーナー
- ⑧ 掲示板、原発ゼロ学習講演会
からむす原稿募集、集積回路

